

お口爽やかですか

テーマ 旭川歯科学院専門学校について

国家試験合格率、就職率も100%

旭川歯科学院専門学校は、旭川歯科医師会が設立する歯科衛生士を養成する専門学校です。本学は平成17年に3年制に移行しましたが、それ以来、国家試験合格率は100%、就職率も100%を誇り、求人倍率は6倍から8倍に達しています。

向き合って、予防処置（歯石除去、フッ素塗布など）や保健指導（歯磨き指導、摂食嚥下指導など）を行うには、歯科衛生士養成専門学校で3年間の修学の後、国家試験に合格し歯科衛生士の資格を取る必要があります。

中心から、予防重視に移行しつつあります。さらに高齢者・障がい者に対する摂食嚥下指導など口腔ケアの分野でも、ますますその仕事の範囲が広がり、卒業後は歯科医院のみならず、総合病院や保健所、市町村役場、介護施設など多方面での活躍が期待されます。歯科衛生士の絶対数は不足しています。この就職難の時代でも、歯科衛生士の資格さえあれば、就職に困ることはないでしょう。

2人の常勤歯科医師を含む専任教員のほか、同会に所属する歯科医師をはじめ、旭川医科大学、北海道教育大学など洗練された講師陣による専門的なわかりやすい講義、市内一般歯科医院、道北口腔保健センターにおける豊富な臨床実習、懇切丁寧な国家試験対策指導と安心して学べる環境が整っています。

歯科衛生士ってどんな仕事？どうしたらなれるの？

あなたも歯科衛生士になりませんか！

歯科衛生士は、その専門課程を修め、国家試験に合格した、歯科医療・保健・福祉の分野で活躍するスペシャリストです。少子高齢化社会の到来により歯科の診療スタイルも従来の治療

が歯医者さんに行った時に歯石を取ったり、歯磨きの仕方を指導してくれたりする人が歯科衛生士です。このように実際に患者さんに

昭和39年に厚生省の認可を受けて、旭川歯科医師会が設立し46年の歴史と伝統を有する歯科衛生士養成専門学校です。現在、道北・道東地域で唯一の歯科医療系の専門学校です。本校では歯科医師の影島校長と、

旭川歯科学院専門学校ってどんな学校？

さらに日本全国全ての歯科衛生士養成学校の修業年数が、平成22年度から2年制から3年制に改正されるのに先立ち、本学はすでに平成17年度から3年制にカリキュラムを変更し、5年が経過しました。知識・技術はもちろん、社会に順応できる心豊かな人間性と社会性を持った歯科衛生士の育成に努めています。

オープンキャンパスを実施しています。6月20日と7月25日、9月12日、10月17日の4日間です。お電話でお申し込み下さい。☎0166・61・1022

